



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 TOWA株式会社

上場取引所 東

コード番号 6315 URL <https://www.towajapan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 博和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 中西 和彦

TEL 075- 692- 0251

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	11,960	107.3	2,761	902.1	2,716	859.6	1,978	858.1
2021年3月期第1四半期	5,770	22.0	275		283		206	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 2,295百万円 (475.1%) 2021年3月期第1四半期 399百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	79.11	
2021年3月期第1四半期	8.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	56,548	33,398	58.5
2021年3月期	51,790	31,503	60.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 33,068百万円 2021年3月期 31,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		16.00	16.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	86.5	5,300	387.3	5,300	331.7	3,700	316.1	147.95
通期	46,000	54.8	9,100	151.5	9,100	138.3	6,350	138.4	253.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	25,021,832 株	2021年3月期	25,021,832 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	12,829 株	2021年3月期	12,806 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	25,009,020 株	2021年3月期1Q	25,009,212 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想等に関する詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、ワクチン接種が先行する地域において経済活動が本格的に再開されるなど、持ち直しの動きがみられました。

半導体業界におきましては、高速通信規格「5G」関連やサーバー向け、車載向けなど幅広い用途で旺盛な需要が続きました。半導体製造装置市場は、AI（人工知能）や5Gの普及、EV（電気自動車）化などともなう半導体需要の拡大に加え、地政学的リスクを懸念した各国政府による半導体サプライチェーン再構築の動きなどから、今後も高い成長が続くことが見込まれております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、世界的な半導体不足への対応と今後の需要拡大を見込んだ設備投資や、中国での半導体内製化の加速などを背景に好調な受注環境が続き、当第1四半期の当社グループの受注高は183億69百万円と、過去最高の四半期受注高となりました。

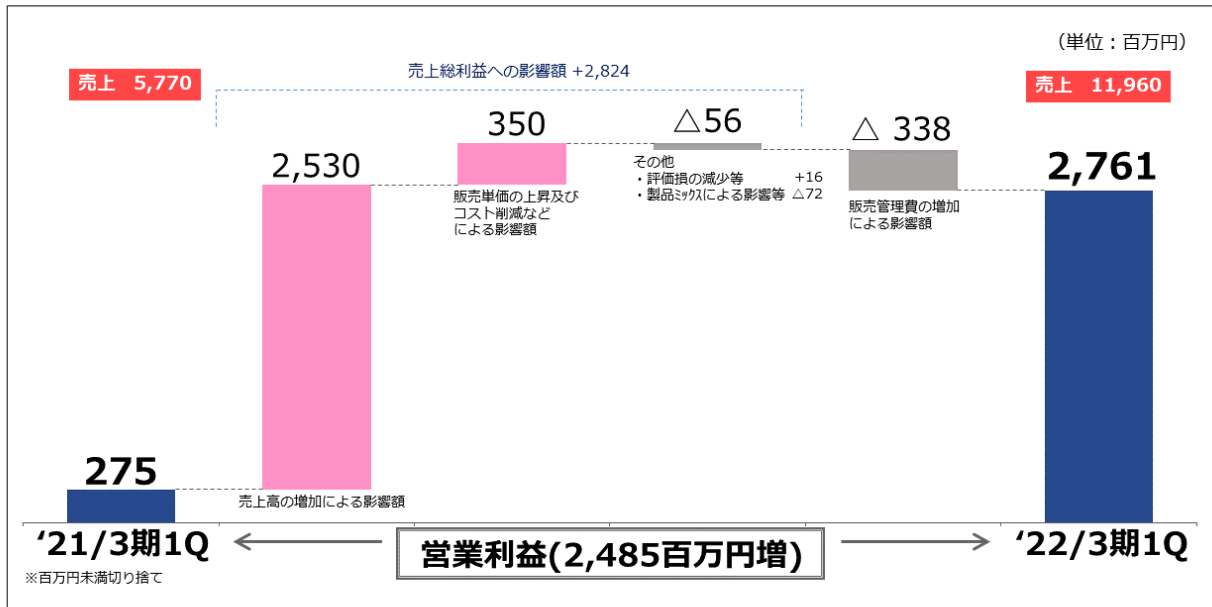
新型コロナウイルス感染症による経営成績への影響につきましては、当社生産拠点のある東南アジアなどで再び感染が拡大するなど、厳しい状況が続いておりますが、生産、出荷体制及び装置据付作業などに大きな遅延はなく、現時点において影響は軽微であります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりであります。

売上高	119億60百万円（前年同期比61億90百万円増、2.1倍）
営業利益	27億61百万円（前年同期比24億85百万円増、10.0倍）
経常利益	27億16百万円（前年同期比24億33百万円増、9.6倍）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19億78百万円（前年同期比17億71百万円増、9.6倍）

当第1四半期連結累計期間の営業利益の主な増減要因（対前年同期）は次のとおりであります。

売上高の増加による影響額	25億30百万円増
販売単価の上昇及びコスト削減などによる影響額	3億50百万円増
その他（評価損の減少、製品ミックスによる影響等）	56百万円減
販売管理費の増加による影響額	3億38百万円減



セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[半導体製造装置事業]

半導体製造装置事業における経営成績は、中国での半導体内製化に向けた投資や、台湾などでの生産能力拡大のための投資が活発化し、モールドイング装置・金型の売上が増加した結果、売上高109億46百万円（前年同期比59億30百万円増、2.2倍）となりました。利益につきましては、受注・売上の増加にともない工場稼働率が改善したことに加え、コンプレッション装置などの付加価値の高い製品の売上が増加したことから収益性が改善し、営業利益26億80百万円（前年同期比24億13百万円増、10.0倍）となりました。

[ファインプラスチック成形品事業]

ファインプラスチック成形品事業における経営成績は、売上高4億79百万円（前年同期比67百万円、16.5%増）、営業利益97百万円（前年同期比18百万円、23.9%増）となりました。

[レーザ加工装置事業]

レーザ加工装置事業における経営成績は、車載や産業機械向け、民生品向けなど、様々な用途で電子部品の需要が旺盛なことから、売上高は5億33百万円（前年同期比1億92百万円、56.2%増）となりました。利益につきましては、戦略的に受注した低利益率の案件が一時的に増加したことなどから、営業損失15百万円（前年同期は営業損失70百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響について、本資料提出時点においては、軽微であると判断しており、連結業績予想につきましては、2021年7月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想に変更はありません。

今後の新型コロナウイルス感染症拡大や終息の状況などにより、業績見通しに修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,686,470	11,176,449
受取手形及び売掛金	8,892,523	10,362,838
電子記録債権	50,752	386,124
商品及び製品	2,792,537	3,519,818
仕掛品	5,578,889	6,137,800
原材料及び貯蔵品	781,913	1,013,083
その他	1,175,001	1,271,517
貸倒引当金	△581	△433
流動資産合計	29,957,506	33,867,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,196,280	18,266,091
減価償却累計額	△10,976,114	△11,118,100
建物及び構築物 (純額)	7,220,165	7,147,991
機械装置及び運搬具	11,414,556	12,501,769
減価償却累計額	△9,003,589	△9,178,261
機械装置及び運搬具 (純額)	2,410,967	3,323,507
土地	4,365,904	4,571,071
リース資産	950,680	967,540
減価償却累計額	△194,350	△218,518
リース資産 (純額)	756,329	749,022
建設仮勘定	949,770	538,392
その他	3,787,980	3,887,990
減価償却累計額	△3,250,659	△3,295,610
その他 (純額)	537,320	592,380
有形固定資産合計	16,240,458	16,922,364
無形固定資産	636,520	646,511
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	330,375	342,316
その他	4,625,655	4,769,746
投資その他の資産	4,956,031	5,112,063
固定資産合計	21,833,009	22,680,940
資産合計	51,790,516	56,548,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,214,770	4,804,655
電子記録債務	1,725,148	2,649,687
短期借入金	1,500,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,340,000	1,340,000
未払法人税等	798,277	605,238
製品保証引当金	216,097	254,400
賞与引当金	687,433	466,929
役員賞与引当金	46,941	9,059
その他	4,111,629	5,167,491
流動負債合計	14,640,298	17,597,463
固定負債		
長期借入金	4,610,000	4,275,000
退職給付に係る負債	757,838	753,214
その他	278,622	523,497
固定負債合計	5,646,460	5,551,712
負債合計	20,286,759	23,149,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,932,627	8,932,627
資本剰余金	462,236	462,236
利益剰余金	19,090,395	20,668,727
自己株式	△11,665	△11,712
株主資本合計	28,473,594	30,051,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,195,067	2,390,823
為替換算調整勘定	411,764	531,830
退職給付に係る調整累計額	100,747	94,001
その他の包括利益累計額合計	2,707,578	3,016,654
非支配株主持分	322,584	330,429
純資産合計	31,503,757	33,398,963
負債純資産合計	51,790,516	56,548,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,770,034	11,960,369
売上原価	4,164,478	7,530,028
売上総利益	1,605,556	4,430,340
販売費及び一般管理費	1,329,976	1,668,796
営業利益	275,579	2,761,544
営業外収益		
受取利息	7,188	7,238
受取配当金	14,757	22,192
雑収入	44,511	37,843
営業外収益合計	66,457	67,274
営業外費用		
支払利息	14,127	12,415
為替差損	41,852	91,862
雑損失	3,001	8,268
営業外費用合計	58,980	112,547
経常利益	283,055	2,716,271
特別利益		
固定資産売却益	1,249	—
特別利益合計	1,249	—
特別損失		
固定資産除却損	171	569
特別損失合計	171	569
税金等調整前四半期純利益	284,133	2,715,702
法人税等	79,669	734,573
四半期純利益	204,464	1,981,128
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,045	2,652
親会社株主に帰属する四半期純利益	206,509	1,978,476

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	204,464	1,981,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196,606	195,756
為替換算調整勘定	△4,170	125,258
退職給付に係る調整額	2,224	△6,746
その他の包括利益合計	194,660	314,268
四半期包括利益	399,124	2,295,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401,960	2,287,551
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,835	7,845

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。これによる、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。